

令和4年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「先進事業」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	セラミックバス式亜鉛めっき炉
型番	CERARO
会社名	三建産業株式会社
本社所在地	〒731-3169 広島県広島市安佐南区伴西3丁目1-2
会社WEBページURL	http://www.sanken-sangyo.co.jp/index.html
製品紹介ページURL	http://www.sanken-sangyo.co.jp/products/steel/index.html

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	三建産業株式会社 営業本部 東京支社 大原 光世 MAIL : oharam@sanken-sangyo.co.jp TEL : 03-3865-1271
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	溶融亜鉛めっき分野における「亜鉛めっき炉」		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	146	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	44.0	%	
導入事例における費用対効果（年間）	36.5	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	40,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	400,000	円/年	

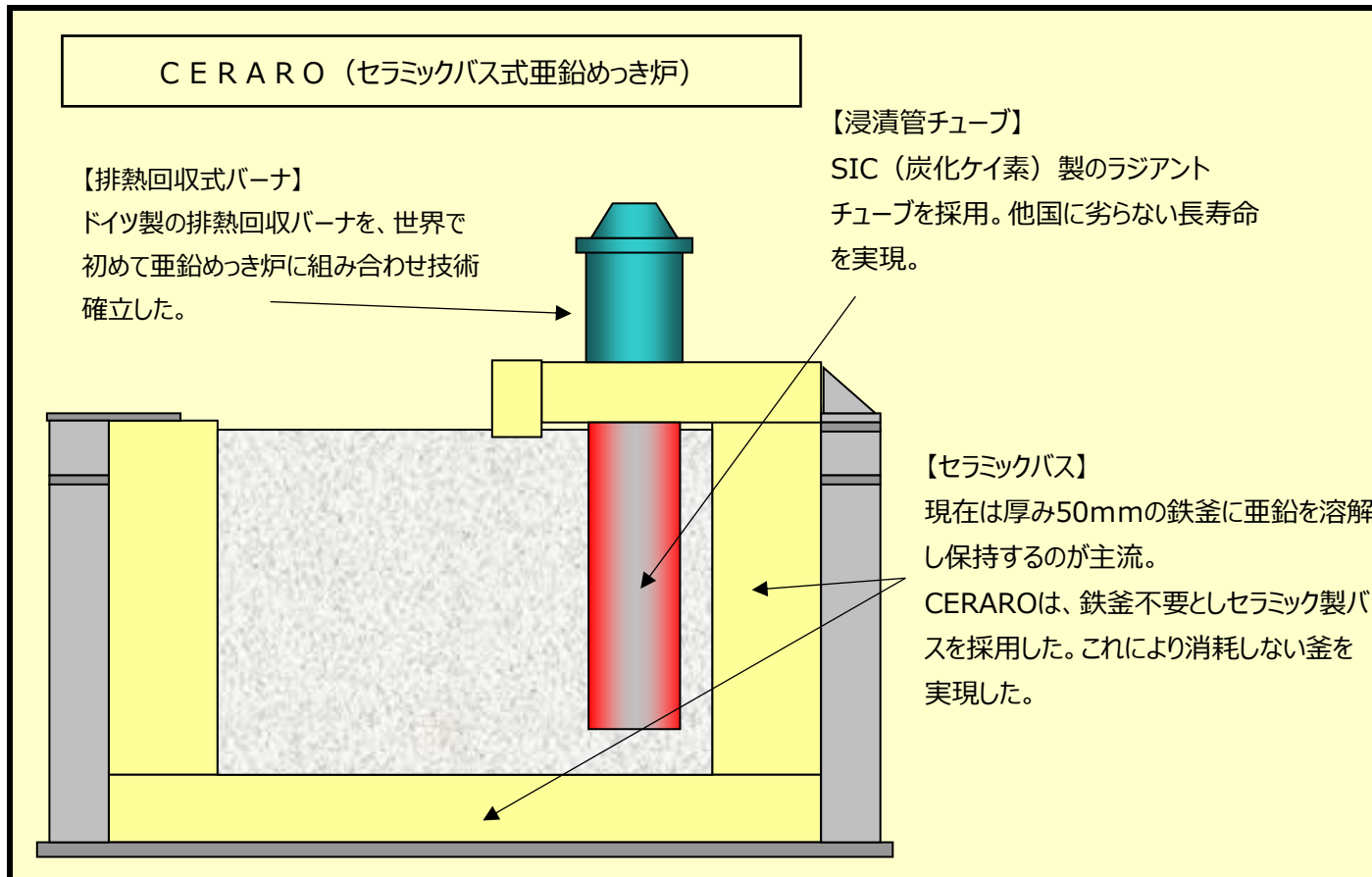
製品・システムの概要

溶融亜鉛めっき炉における浸漬管式セラミックバスめっき炉
排熱回収式バーナとラジアントチューブの組み合わせにより高効率で亜鉛溶湯に熱伝達できるため、省エネルギー性能が向上しています。 セラミックバスにて炉体放散熱も抑えられ、周囲の温度が下がり、作業環境も改善します。 鉄釜の消耗が無く、湯漏れ事故も無くなります。又、鉄釜と亜鉛溶湯が反応するドロスも無く、メンテナンス費用も大幅に抑えられます。 これらにより燃費・消耗品ライフサイクルコストを低減できます。
※1工場・事業場当たりの想定省エネ率は、工場によって数値は異なります。

先進性についての説明

1. 高効率な熱伝達方式を採用 鉄釜方式は鉄釜周囲の雰囲気加熱をおこなうことで、熱伝達していますが、本設備は浸漬管バーナを採用し、溶湯に直接浸漬することで、熱伝達します。また、本浸漬バーナは排熱を回収するタイプであるため、高い省エネ効果が見込まれます。国際的な亜鉛めっき学会・国際展示会でも本設備の発表実績があります。
2. 釜替え不要。省エネ、省人力、省資源に繋がります。 世界的に採用の多い鉄釜は、必ず寿命があり、交換が必要となります。一般的に釜重量は10～90ton。釜の交換時には鉄釜内の亜鉛をすべて除去するのが理想ですが、全ての亜鉛を除去することはできないため、釜重量の約1割分（1～10ton程度）は鉄釜内亜鉛が付着したまま廃棄処理されます。そして鉄釜を交換した後の立ち上げ作業にて、同程度の亜鉛溶湯を作るのに、約7～10日ほどかけて亜鉛の再溶解をする必要があります。 本設備では、釜の交換が不要であり、バーナに付帯する浸漬管チューブ（炭化ケイ素セラミックチューブ）を3～5年ごとに1回、週末（土日）に交換をするだけで済みます。

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

